

活動実績報告書

令和元年 12 月 13 日

登録番号 20190784

氏 名 山上 哲幸

1. 活動状況

平成30年 4月 ~ 継続取組中

・ 活動の概要

平成28年度に国頭村を「ケーススタディ地区」として設定し、地域の森林のマスタープランとなる市町村森林整備計画の策定支援等を行い次期計画期間までの達成に向けフォローアップすることとしている。

・ 当該活動を挙げた理由

世界自然遺産登録に向け、「やんばる国立公園」の指定、「米軍北部訓練場の返還」、「やんばる森林生態系保護地域」の設定等により、自然保護に関する目が厳しい状況にある。そのため、自然環境に配慮した森林施業・生物多様性の発揮・公益的機能の発揮等が重要となってきた。

・ 当該活動における、あなたの立場と役割

関係機関との連携及び各種会議等(世界自然遺産登録関係・密猟対策等)に参画し、また、現地検討会等の実施により、情報の共有を図った。

・ 活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策

世界自然遺産推薦地(奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島)であることから、自然環境に配慮した森林施業(沖縄県の赤土流失防止条例等)と持続可能な森林経営の調和が必要であるが、伐採個所が限定されることからゾーニングが重要となる。

また、平成26年度に策定した「やんばる型森林業」との整合性を保つことに取り組んできた。

・ 活動による成果で残された課題及び今後の改善方策

地域性のある国頭村森林整備計画(世界自然遺産登録に向けた自然に配慮した森林施業及び「やんばる型森林業」の記載)が樹立され、平成31年度から計画期間になったため、計画実行に向け今後も関係機関と連携しながら、赤土流失防止としての架線集材等検討会を開催しながら自然に配慮した森林施業方法を検証していくこととしている。

注1:1. 活動状況については、直近の過去5年間に、森林総合監理士としての活動に関連していると考えられる、又は森林総合監理士として取り組んだ具体的な活動内容を記載してください。

2. 研修の受講状況

研修名 技術者育成研修 中央研修 平成 30 年 7 月
(実施主体) 林野庁

研修名 技術者育成研修 九州ブロック研修 平成 30 年 12 月
(実施主体) 林野庁 九州森林管理局

研修名 技術者育成研修 実践研修 平成 30 年 11 月
(実施主体) 林野庁 九州森林管理局

3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

(記載事項例)

- ・ 森林総合監理士(あるいは森林総合監理士に関連していると考えられる)としての活動に関連する各種研修への参加

平成30・令和元年度 フォレスター等活動推進会議参加

平成30年度民国連携担当者研修

注2: 2. 研修の受講状況、及び3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況については、直近の過去5年間に取り組んだ具体的な内容と時期を記載してください。

注3: 活動実績報告書は、A4で全2枚としてください。

注4: この活動実績報告書は、このままPDF化して林野庁ホームページに掲載しますので、見やすさ読みやすさ、個人の特定等、公開に差し障りのある表現にもご配慮ください。